

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	STARS		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		令和8年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援室(プレイルーム)が広い。	発達支援室(プレイルーム)の基準は一人当たり2.47㎡のところ3.3㎡あり、段差がなくバリアフリーになっています。 また、広い発達支援室(プレイルーム)でのびのびと活動出来る様にしております。	広い空間を利用してトランポリンや跳び箱、一本橋やバランスボールなどの用具を増やし、運動やサーキットレクなどの充実を図って参ります。
2	満足度の3項目について高評価を頂きました。	送迎時にその日の活動の様子をお伝えしたり、連絡事項や相談事などLINEや面談などで迅速に対応しています。	更に充実を図りながら安全・安心を担保し信頼関係を深められる様に取り組んで参ります。

3	一人一人に寄り添った支援。	児童一人一人の発達状況や障害特性から課題を表出し、生活上の困難や悩みを軽減出来るよに支援しています。	ストレスを発散し、落ち着いて過ごす事が出来るように環境を整え、将来の生活自立や社会参加が出来る様に支援していきます。
---	---------------	--	--

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことも活動する機会が少ない。	放課後児童クラブとの交流はありませんが、公園や社会資源を利用した時は、近隣の児童とのふれあいがあります。 一部社会資源については駐車場などの環境を整えば、利用したいと考えています。	近隣だけでなく離れた公園や博物館などの社会資源を利用して他の児童と関わりを持っていますが、更に恒常化しない様に安心安全を担保し、他児童と関わる機会を設けていきます。
2	父母の会の活動や保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられていない。 兄弟向けのイベント開催等により、兄弟同士の交流の機会が設けられ、兄弟の支援がされているのか不明。	新型コロナが流行った時期から大きな集団での活動を控えて来ました。	令和8年度からはご家族・保護者様のご意向をお伺いし、保護者様同伴のイベントなどを企画し、交流の機会を設けていきます。
3	定期的に通信等を発行する事や、ホームページでの活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を細やかに発信することが出来ていない。	担当職員が病気休養の為、最低月一回の更新が出来なかったことと、担当職員の変更に伴う引継ぎがスムーズに進まなかった事で更新が遅れてしまいました。	新たにシステムと担当を構築し、最低月一回は更新を旨とし、活動の概要や行事予定などを発信していきます。